

令和 6 年度定例会 3 月会議開会挨拶（令和 7 年 3 月 11 日開催）

定例会 3 月会議の開会にあたり、ご挨拶を申し上げます。

今年度の「町民と議員の懇談会」は、町民の皆様のご協力を頂き、例年通り 17 会場で実施、無事終わることが出来ました。意見を聞くことへ重点を置いた懇談会により、雇用の場の創出、防災、高校存続等、多岐にわたる意見を頂きました。

先般、町側へ実施報告書を手交しておりますが、課題等につきましては、議会としても調査をすることとなります。

次期改選に向けた課題として特別委員会で検討を開始しております、「議員定数」「議員の成り手不足」「議会改革の見直し」等についても、議会だよりで示してきた資料を基に、経過の概略を改めて説明し、種々意見を伺うことが出来ましたし、西部 4 町議員研修会で栗山町議会斉藤副議長から「議員の学校」について詳細に講演をいただきましたので、さらに検討を進め一定の段階で議会としての方向性を示していきたいと考えております。

町民の中には、依然として、「議会の役割」「議会と行政の仕組み」が、理解されず良くわからないとの意見も多く、情報をさらに周知・発信して欲しいとの意見もありましたので、気軽に参加できる機会を引続き積極的に提供していかなければとも思っております。

今、3 月会議は、町政執行方針に示された重要案件に係る各会計の新年度予算を審議する重要な議会であり、活発な議論が展開されます事を願っております。

政策については、行政評価に繋がる事を自覚し、計画精度を高める努力が必要であり、人口減少・高齢化が進行する中で、予測される厳しい財政状況に充分配慮、予算の目的・算定根拠を明確にし、理解を得て共通の認識を持つよう努めることも大切ですし、議会・行政ともに政策の過程をさらにわかりやすく町民の皆様を示していくことも大切です。

町づくり、議会両基本条例に基づき、町民との協働のまちづくりを目指す、行政・議会は、公正・公平を肝に銘じ、町民の模範となるよう規律を遵守、情報を適確に発信し、共有することもあらためて心掛けなければなりません。

議会としても、町民の負託に応えるため一層研鑽に励み、課題に向かって着実・果敢に活動を続けていかなければならないと思っております。

例年になく降雪量も少なく、風も緩み春の兆しが見え始め、桜前線が話題となる時節となりました。

出席者各位には、健康に留意され、お体ご自愛の上、本定例会の議事運営にご協力いただきますよう、お願いを申し上げ開会の挨拶といたします。